

令和4年度

社会福祉法人信達福祉会（法人本部含む）事業計画

I 運営理念

安 全 ・ 安 心 ・ ゆ と り

- 一 在宅、施設にかかわらず、介護を必要とする方々のかけがえのない命を尊重し、心が落ちついて生活できる介護サービスを提供します。
- 一 利用者、家族、職員がお互いに信頼関係を築き、気がかりなく、安心感に包まれた、心が落ちつく生活環境をつくります。
- 一 心にゆとりをもち、一人ひとりがその人らしく、おだやかな生活を送ることができる環境を整えます。

わが国における高齢化率は、2025年（令和7年）には30.0%、2040年（令和22年）には35.4%に増えるといわれています。これらの傾向は特に地方で顕著であり、2020年（令和2年）現在で福島市29.8%、伊達市36.1%、桑折町37.9%、国見町42.2%、川俣町41.9%となっています。

高齢化率の急上昇は、医療費や介護費の増大、高齢者及び高齢者の独り暮らし世帯の増加、要介護者の増加などをもたらし、同時に高齢者介護への期待と役割がますます高まっているといえます。

その一方で、高齢者介護の人材不足は深刻で、2025年に必要な介護職員は約243万人とされ、今後約32万人の介護職員が不足するといわれています。

信達福祉会では、中高年の採用及び離職者の復職支援など多様な人材の確保に加え、介護ロボット・ICTの活用などを通じ、離職防止・定着促進・生産性向上を図り、安定的な人材確保に努めてまいります。

II 経営改善の重点

持続可能な経営をめざし、財務状況の改善、将来を見据えた事業経営戦略づくり、人材の確保と育成など、総合的な経営能力の向上を図ります。

〔重点事項〕

◇経営改善計画の進行管理・見える化

課題を明らかにして進捗状況の見える化を図ります。

◇事務の統一、合理化

施設事務の統一により合理化を図り、迅速に対応します。

◇業務の標準化

施設業務の課題を共有し、業務・サービスの点検と標準化を行います。

◇介護ロボット・ICTの導入

先を見据えたICT導入によるサービス向上と業務の効率化を行います。

Ⅲ 事業計画

1 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

(1) 利用者の権利擁護

利用者とその家族にとって利用しやすい施設づくりと、利用者の尊厳を保持しその人らしく生活できる介護サービス提供の基準づくりを行います。

- 利用者・家族満足度共通調査の実施と振り返り
- 居宅介護支援事業所等との定期的な情報交換
- 地域における介護需要の分析

(2) 質の高いサービスの提供

専門職によるチームケアで、その方の持っている力を最大限発揮できるように全面的に支援します。

- 生活歴に配慮した介護支援計画の作成
- 認知症への職員対応力向上
- 職員に対する定期的な評価のしくみづくり

【特別養護老人ホーム・ショートステイ】

〔介護〕

- ◇利用者・家族と良好なコミュニケーションに努めます。
- ◇個別機能訓練により、ケガの予防及び身体機能の維持改善を図ります。

〔看護〕

- ◇歯科医師等と連携し、誤嚥性肺炎の予防に努めます。
- ◇新型コロナ及びその他感染症に関する知識を深め、一層の予防に努めます。

〔栄養〕

- ◇季節を感じる選択食や行事食を提供します。
- ◇栄養状態の維持、低栄養の予防や改善、生活機能の維持を図ります。

〔ショートステイ〕

- ◇受入体制の整備及びケアの質の向上を図り、事故・感染症防止に努めます。
- ◇効率的な運営に努め空床をなくします。

【デイサービスセンター】

- ◇在宅高齢者の孤立感の解消や心身機能維持のサービスを提供します。
- ◇日常生活動作訓練及びアクティビティによる心身の活性化に努めます。

【ケアハウス広瀬】

- ◇安心して心豊かに生活できるよう心身状況に配慮した住居を提供します。
- ◇身体機能や認知機能の低下を防ぐための介護サービスを提供します。

【梁川ホーム指定居宅介護支援事業所】

- ◇住み慣れた地域で質の高い生活を営むことができるよう支援します。
- ◇医療、福祉の関係機関と連携し、公平・中立な立場で総合的に支援します。

【伊達市梁川地域包括支援センター】

- ◇「地域包括ケアシステム」を担う機関としての役割を果たします。
- ◇地域の高齢者の暮らしを支える総合的な相談窓口の業務を行います。

2 職員が育つ組織づくり

(1) 職員の成長を促す人材育成

職員の成長は、法人・施設の持続的発展に不可欠であり、職員研修、職員提案制度等の実施により、職員が育つ組織づくりを進めます。

- 新採用研修、役職別研修、新任研修、専門研修等の計画・実施
- 職員提案制度等による職員の経営参画と業務改善の促進
- 新人職員の定着をはかるメンタルヘルスの支援
- 若手職員の発想を業務に反映できる環境づくり

(2) トータルな人事管理制度の構築

将来的に不足が懸念される介護職員の確保に取り組みます。あわせて高齢職員の活用及び働きやすい職場づくりをすすめます。

- 職員の定数管理に基づく採用計画作成と採用活動
- 高校生及びその保護者等に対する職場紹介企画の実施
- 高齢職員の活用と職場環境の条件整備
- 有給休暇の取得促進と時間外勤務の削減などワークライフバランスによる働きやすい職場づくり
- 「えるぼし認定」(令和3年)を継続し、男女ともに活躍できる職場づくりの推進

3 持続可能で未来志向の経営管理

(1) 事業戦略と持続可能な財務運営

当初予算における収入は過去3年の平均とし、支出を節減して、常時、経営成績と財政状態を把握します。

- 稼働率の確保と可能な限りの加算算定
- 補助金・助成金等の有効活用
- 在庫管理による業務の円滑化と法人一括契約による経費節減
- 施設設備の計画的改修及び支出負担の平準化
- SDGsの価値観を生かした事業運営の推進

(2) 地域社会におけるつながりづくり

施設を地域の方々に知っていただき、あわせて災害や感染症から利用者、職員そして地域を守る取り組みをすすめます。

- 保育園児や地域住民等のボランティアの施設訪問受け入れの実施
- 中学生の体験学習、高校生の職場体験の実施
- 地震、水害等災害対策及び事業継続計画(BCP)の策定、見直し・訓練
- 行政、地域諸団体との連携

IV 法人本部

1 事務の合理化と財務運営の適正化

(1) 事務処理の迅速化

- 施設設備更新計画の進行管理、大規模改修の本部推進
- 事務処理の標準化、迅速化、ペーパーレス化の実施
- 経営組織のガバナンス強化

(2) 持続可能な財務運営

- 月次報告分析による予算管理
- 経営シミュレーションに基づく経営改善
- 補助金・助成金の活用
- 備品管理及び在庫管理による業務の円滑化と一括契約による経費の節減

【目標数値】

目標計画	令和3年度見込	令和4年度目標
施設設備更新計画の進行管理	施設で実施	法人全体として実施
事務の標準化、迅速化、ペーパーレス化	—	勤怠管理システム、タブレット等導入の検討
備品、在庫管理による業務の円滑化と一括契約の拡大による経費節減	—	5%の経費削減
月次報告分析と情報共有	—	経費率の削減

2 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり

(1) 人材の確保と育成

- 職員定数管理及び職員（再雇用）意向調査の実施と分析
- 採用（募集・試験・採用）事務の一元化
- 高校生体験実習・職場説明会の実施
- ホームページのリニューアル及び法人案内パンフレットの作成
- ストレスチェックほかメンタルヘルス対策の実施
- 職員研修テキスト作成

(2) 業務改善と標準化

- 業務手順書の作成、見える化、標準化、業務改善
- 各職種担当者会議の定期開催と業務改善
- 職員提案制度の周知と実施

【目標数値】

目標計画	令和3年度見込	令和4年度目標
業務改善による時間外勤務の削減	法人全体月平均 749時間	前年比30%減
職員満足度調査	—	年1回実施
ホームページリニューアル	—	アクセス数50%増
法人パンフレット	施設ごと	法人で作成
業務手順書（マニュアル）	施設ごと	法人統一
職員提案制度	1月まで11件	月5件

令和4年度あつかし荘事業計画

1 全体

あつかし荘のサービス利用は桑折町・国見町の方が中心となっており、高齢化率は桑折町が37.9%、国見町42.2%と高く、しばらくは介護需要の高い状態が続くと思われます。事業を安定して継続させ、地域の介護ニーズに応じていくために、令和4年度は施設設備の修繕・更新、事業継続計画（BCP）に基づく訓練の実施、介護サービスの質向上、働きやすい職場づくりに取り組み、運営理念である「安全・安心・ゆとり」の実現を目指します。

【目標数値】

目標数値		令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	特別養護老人ホーム	99.0%	99.1%	99.2%
	ショートステイ	84.7%	73.5%	80.0%

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

介護サービスの質向上を図るため、専門性と根拠のある介護を推進します。リハビリ・レクリエーションの充実を図り活動の機会を増やします。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
LIFEを活用した支援計画の見直し（栄養・排泄・褥瘡ケアカンファレンスの開催）	—	5回開催	毎月開催
認知症介護の知識習得	マニュアルの学習 毎月1回	マニュアルの学習 毎月1回 県認知症介護研修 受講（3名）	マニュアルの学習 毎月1回 施設内研修2回 県認知症介護研修 受講（4名）
集団レクリエーションの実施	週1回	週1回	週3回

※LIFE：介護データ収集、分析システム

(2) 看護

利用者・家族に寄り添った看取り介護の充実を図ります。また、感染症ゼロに向け、職員の衛生教育と予防・蔓延防止対策を徹底します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
看取り介護における利用者・家族の意向の把握	2段階の確認（入所時、看取り介護開始時）	2段階の確認（入所時、看取り介護開始時）	A C P（人生会議）の導入
感染症予防対策の実施（利用者の発症者数）	0名	18名（1月現在） （感染性胃腸炎）	0名
感染症研修及び訓練	研修2回・訓練1回	研修2回・訓練1回	研修2回・訓練1回

(3) 栄養管理

口腔ケアと食事観察に努めて栄養マネジメントを行い、低栄養リスクの予防と改善を図ります。また、非常時用の備蓄の確保と管理を行い、地域拠点としての役割にも備えます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
残菜量	1日平均10kg	1日平均6kg （1月現在）	1日平均4kg以下
低栄養リスク者割合	14%	15%	10%以下
非常時の備蓄品の管理	食料備蓄5日分	食料備蓄5日分 炊出し訓練1回	炊出し訓練1回、 感染症想定机上訓練

(4) 生活相談

入所検討委員会で決定された順位にそって待機者の入所準備を早めに進め、稼働率99%以上の達成を目指します。また、L I F Eへのデータ提出により利用者の状態把握をしながら同時に加算を取得します。さらに、利用者・家族との信頼を築き、苦情・要望には迅速かつ適切に対応します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
入所までの空床期間	全体平均9.6日	全体平均15日 （1月現在）	在宅から5日以内 施設から10日以内
相談援助・苦情対応スキルの向上	外部研修派遣（生活相談員研修1名、施設ケアマネ研修1名）	外部研修派遣（相談援助面接1名、苦情受付1名）	外部研修派遣（相談援助面接1名） 係内研修毎月1回

(5) 総務管理

既存棟ナースコール設備及び各種施設設備の修繕を行い、利用者の快適性と職員の働きやすさの向上を図ります。さらに、連続休暇の取得促進、介護負担軽減のための業務の見直しをすすめて、職員の心身ストレスの軽減を図ります。また、災害及び感染症発症時における事業継続計画（BCP）を策定します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
職員の心身ストレスの軽減	年休取得5日以上	年休取得5日以上	連続休暇の取得促進
BCPの策定及び訓練	—	—	BCPに基づく訓練

3 ショートステイ

利用者ニーズに合わせて柔軟に日程やサービス内容の対応をしていきます。さらに、ケアマネジャーとの連絡をこまやかに行い、利用者の定着と新規利用の獲得に努めます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用実人数	月平均24.5人	月平均22.3人 (1月現在)	25人
レクリエーション・アクティビティの実施	週1回	週1回	週3回
ケアマネへの空床情報・サービス内容についての情報配付	月1～2回	月1～2回	月2～3回

令和4年度梁川ホーム等事業計画

1 全体

伊達市では人口減少が進むとともに高齢化率が36.1%となり、中でも梁川町は38.8%と高くなっています。市内においては、入所施設や通所施設の整備が進んでいますが、梁川ホームが地域の皆様からの期待に応え、選ばれる施設となるよう、引き続き利用者本位の運営及び介護サービスの質の向上、施設の充実、事業継続計画（BCP）の策定等に取り組み、「安全・安心・ゆとり」の実現を目指します。

【目標数値】

目標計画		令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	特別養護老人ホーム	99.0%	98.1%	99.0%
	ショートステイ	74.7%	56.4%	70.0%
	デイサービスⅠ型	81.4%	85.4%	85.5%
	デイサービスⅡ型	61.7%	61.4%	66.4%
	ケアハウス	88.6%	86.8%	93.0%

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

利用者の要望に添ったサービスを提供し、利用者満足度の向上に向けて最適なケアを実施します。また、趣味活動の充実を図り、季節ごとに行事を開催するなど、楽しみのある生活を送っていただけるよう努めます。さらに、職員の資質向上に向け研修にも取り組みます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
特養内の事故件数	63件	61件 (1月現在)	10%減
集団レクリエーション	隔月	隔月	月3回
職員の研修参加	21回	25回	30回

(2) 看護

医療機関との協力・連携を図り、利用者の健康管理及び病気の早期発見・医療ケアに努めるとともに、誤嚥性肺炎を予防して、楽しく食事が摂れるよう努めます。また、感染症予防対策を徹底し、利用者を感染から守り感染症発症ゼロを継続します。さらに、利用者が自然な看取りによる最期を迎えられるよう多職種と連携を図り、利用者や家族の意向に配慮した看取り介護を進めます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
誤嚥性肺炎の発症者	1名	2名 (1月現在)	0名
感染症予防対策の実施（利用者の発症数）	0名	0名 (1月現在)	0名
感染症研修	2回	2回	3回

(3) 相談援助

利用者や家族、関係事業所と連携して、入所の手続きを円滑に進め、空床期間の短縮を図ります。また、電話や面会時にこまめに状況を伝えるなど家族との連絡を密にしながら、利用者や家族が相談しやすい環境をつくるとともに、真摯な対応と親切丁寧な言葉遣いを心がけます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
入所までの空床期間	平均4.6日	平均10日 (1月現在)	平均8日以内
相談援助、苦情対応力の向上	外部研修参加 (苦情対応1名)	外部研修参加 (相談援助面接1名)	外部研修参加 (相談援助面接1名、苦情対応1名)、内部研修隔月実施

(4) 栄養管理

季節を感じられる安全・安心で質の高い食事の提供と食中毒予防に取り組みます。さらに、利用者の経口維持計画を作成して食事観察を行い、安全に口からの食事ができるよう努めます。また、感染症や災害等の不測の事態でも食事の提供ができるよう業者を交えた厨房非常時想定訓練を実施します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
季節の食事(行事食)	月平均2回	月平均2回	月平均3回
経口維持計画の対象	利用者の70%	利用者の70%	利用者の75%
感染症及び災害対応	備蓄品3日分、炊き出し訓練1回	備蓄品3日分、炊き出し訓練1回	備蓄品3日分、炊き出し訓練1回、厨房非常時想定訓練

(5) 機能訓練

利用者の要望や状態に応じた個別の計画に基づく機能訓練を実施し、集団リハビリでは、他利用者との関わりをもち楽しみながら身体を動かすことで、心身の充実を図ります。さらに、適切な介護用品を選定し、ベッドや車いすでの良肢位を保持することで転倒・転落による外傷を予防するとともに、褥瘡ゼロを目指します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
集団リハビリ回数	月2回	月2回	月3回
褥瘡の発生件数	0件	2件 (1月現在)	0件
転倒等による骨折件数	3件	3件	0件

(6) 総務管理

ICTや介護ロボットの活用により業務の効率化と職員の負担軽減を図るとともに、有給休暇の取得促進と時間外勤務の削減を進め、ゆとりある職場環境づくりに取り組みます。また、効率的な備品等管理により経費を節減し、適正な支出管理に努めながら、施設設備の整備や適切な保守管理により利用者の安全と居住環境の向上に努めます。さらに、災害や感染症が発生した際、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、事業継続計画(BCP)の策定を進めます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
事業活動収支比率	95.5%	98.1%	93.0%
時間外勤務の削減	239時間/月	340時間/月	前年度比20%削減
施設設備の整備	エアコン（居室・ケアハウス）等の更新	ベッドの更新（48台）、エアコン（事務室等）、トイレの温水洗浄便座（43台）等の設置	ベッドの更新（47台）、エアコン（デイⅡ型等）、トイレの温水洗浄便座（30台）等の設置

3 ショートステイ

利用者・家族の要望に応じた受け入れ及び利用者本位の介護に努め、安定して在宅生活が継続できるよう、心身機能の回復を促し、生活上の支援やレクリエーションなどを提供します。また、感染症対策の観点などから、ほほえみ通りをショート専用とします。さらに、サービス内容を地域、居宅介護支援事業所やご家族に伝え、利用者の定着と新規利用の獲得に取り組みます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用実人数	月平均50人	月平均40人（1月現在）	月平均43人
空き状況、サービス内容の情報発信	月1回	月1回	月2回
ショート専用棟の設置	特養と併用	特養と併用	ほほえみ通りをショート専用化

4 デイサービスセンター

利用者の多様な要望に対応した運営に努め、レクリエーションや日常生活動作訓練などを通して、在宅での日常動作の継続や心身機能の維持ができるよう、また、認知症型では症状に応じ安心して生活できるよう支援します。さらに、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等へ、提供しているサービスの案内や空き情報の提供、利用状況をお知らせし、新規利用者の獲得を図り選ばれる事業所を目指します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用実人数（Ⅰ・Ⅱ）	Ⅰ型91人/月 Ⅱ型27人/月	Ⅰ型90人/月 Ⅱ型25人/月 （1月現在）	Ⅰ型93人/月 Ⅱ型28人/月
口腔ケアの実施	85%	90%	95%
サービス内容や空き状況等の情報発信	月1回	月1回	月2回

5 ケアハウス広瀬

入居者の健康状態の把握に努め、家族との連携を密にし、心身ともに健康で、安心して生活できるよう支援します。また自立した生活が送れるよう多職種が連携し、精神的・身体的な不安や悩みを相談できる環境をつくり支援いたします。さらに毎月、計画的に行事を実施し、入居者同士の親睦を深め、楽しみのある生活が送れるように努めます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
ご意見箱の設置	—	—	設置
サロンの定期開催	週3回	週3回	週4回
稼働率の確保	88.6%	86.8%	93.0%

6 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

利用者や家族のニーズに添ったケアプランを作成しながら適切な生活支援を受けられるよう努めます。内部会議や外部研修を通して自己研鑽に努め、地域包括支援センターなどの関係機関との連携強化や利用者や家族との信頼関係を構築していきます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
担当件数（職員一人あたり）	平均31件/人	平均28件/人	平均35件/人
満足度調査	「満足」が78%	「満足」が76%	「満足」が90%
地域活動への協力	（新型コロナウイルス感染症拡大で中止）	（新型コロナウイルス感染症拡大で中止）	出前講座、認知症カフェ等の開催協力

7 伊達市梁川地域包括支援センター

高齢者の生活上の困りごとに対し、適切なサービスが包括的、効率的に提供されるよう寄り添いながら支援を行います。あわせて訪問活動を通じて包括支援センターの役割について理解を広げていきます。また、認知症カフェを開催し、認知症をもつ本人・家族の集いの場を提供するとともに、地域住民に広く参加してもらうことで認知症に対する理解を深め偏見をなくせるよう支援します。さらに、地域ケア会議を開催し、地域課題を梁川地区の地域支援連絡会で協議していきます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
相談実績	188件/月	185件/月 (1月現在)	195件/月
認知症カフェ開催	1回/年	1回/年	3回/年
介護保険や認知症の理解促進、普及活動	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力

令和4年度川俣ホーム事業計画

1 全体

川俣町の高齢化率は41.9%と県北地域の中では最も高くなっています。そのうち要介護者の割合は比較的軽度の方が多く、在宅サービスを利用しながら自宅での生活を維持される高齢者が多い傾向です。今後、団塊の世代がサービスを利用することを踏まえ、サービス提供においては個別ケアの重視、アクティビティの複数選択、プライバシーの確保、職員の接遇意識の徹底を図り、安定した稼働を目指します。

【目標数値】

目標計画		令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	特別養護老人ホーム	98.7%	97.7%	98.5%
	ショートステイ	77.3%	74.2%	75.0%
	デイサービス I型	70.1%	80.2%	82.0%
	デイサービス II型	61.7%	69.5%	71.0%

2 特別養護老人ホーム

(1) 介護

利用者の多様なニーズに対応した支援やサービスの提供、季節に応じた行事の開催などにより、利用者の満足度の向上と適切なケアの実施に努めます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用者グループ細分化 (支援の多様化)	2グループ	2グループ	4グループ
季節ごと行事数	不定期	不定期	1/月
選択制レクリエーション	不定期	不定期	1/日

(2) 看護

日々の利用者の健康状態の把握に加え、協力病院との連携により、異常の早期発見、早期対応に努めます。また、利用者が看取りとなった場合にも、利用者の意向や家族の気持ちに柔軟に対応していきます。感染症対策においては、最新の情報の収集と、職員への周知による予防措置の実施に努め、発症時においても、事業継続計画（BCP）に基づき速やかな対応を図ります。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
誤嚥性肺炎による入院者	1名	0名（1月現在）	0名
感染症予防対策の実施 (利用者の発症者数)	0名	0名（1月現在）	0名
感染症BCP訓練	0回/年	2回/年	3回/年

(3) 機能訓練

個人の状態に合わせた機能訓練計画書の立案、機能訓練の実施をします。また、状態に合った福祉用具、機器を選定し、利用者が安全で快適な生活が送れるよう支援します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
転倒による骨折事故	2件	2件(1月現在)	0件
体操・レクリエーションの実施	8～9回/月	8～9回/月	10～11回/月

(4) 生活相談

利用者・家族の要望・ニーズを把握し、多職種連携による施設ケアプランを作成します。また、適正な入所計画による入所待機者の確保や待機者・入院者の状況把握による待機日数の短縮を図ります。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
入所までの空床期間	4.9日	10.47日(1月現在)	平均10日以内
利用者との相談回数	相談日設定なし	相談日設定なし	相談日 週1回設定
苦情発生件数	0件	1件(1月現在)	0件

(5) 栄養管理

栄養マネジメント計画に基づく栄養管理や、歯科医師指導による経口維持計画の作成により健康状態の維持や改善に努めます。また、旬の食材提供やライブキッチンの開催など、食事が生活の楽しみとなるよう様々な工夫をしていきます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
経口維持計画書作成	32%	56%	70%
ライブキッチン開催	0/月	4/月	5/月
季節メニューの提供	1/週	1/週	2/週

(6) 総務管理

適切な予算の執行管理、経費の削減に努め健全な財政運営を図ります。また、定期的な施設保守点検によるメンテナンスの実施と計画的な施設整備を実施していきます。労務環境においては、職員のライフステージやワークライフバランスに配慮し、残業の解消や休暇を取得しやすい環境の醸成に努めます。危機管理においては、災害時における地域の避難所として業務を継続できるようBCPを整備し、定期的な訓練実施と計画の見直しを行います。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
経常経費の削減	—	—	前年度比5%削減
時間外勤務手当削減	—	—	前年度比5%削減
ワークライフバランスの充実	—	—	連続休暇取得の推進

3 ショートステイ

利用者及びその家族のニーズを的確に把握し、必要な支援を提供するなど柔軟な対応に努め、利用者の満足度の向上と継続的な利用を促進します。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用実人数	40名	36名/月 (1月現在)	前年度10%増
レクリエーション・アクティビティ数（開催回数）	1回/週	1回/週	4回/週

4 デイサービス

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等への情報提供や「デイだより」の発行により認知度を高め、新規利用者の獲得を図ります。また、レクリエーションや予防体操の充実などにより、利用者の身体機能の維持向上に努めるとともに満足度の向上を図ります。さらに、LIFEを活用し身体機能の状態に関する情報などを利用者家族へ伝えるなどして、意思の疎通を図り、継続利用となるよう努めていきます。

【目標数値】

目標計画	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用実人数（Ⅰ・Ⅱ）	Ⅰ型 40名/月 Ⅱ型 29名/月	Ⅰ型 38名/月 Ⅱ型 28名/月 (1月現在)	前年度10%増
レクリエーション・アクティビティ数（種類）	20種類	20種類	30種類
LIFEの活用（家族への身体機能情報伝達）	—	—	1回/月

※LIFE：介護データ収集、分析システム